

令和 8年度予算見積調書

課室名：観光課

担当名：総務・物産・民泊担当

内線：3950

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P57	来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業			一般会計	商工費	商工業費	販路拡張費	物産観光展示場運営助成費		
事業期間	令和 8年度～ 令和10年度	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	8	
						分野施策	0802 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット	8-9	
1 事業概要 JR東日本クロスステーションが大宮駅東西連絡通路中央付近に地域の物産販売・観光情報発信拠点を整備することに伴い、その一画に埼玉物産ブースを開設する。 全体を一体的に運営するJR東日本クロスステーションと県で協定を締結し、連携して埼玉物産ブースを運営することで県産品の認知の向上を図るとともに販売拡大を促進する。 来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業 57,567千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア JR東日本クロスステーションが整備する地域の物産販売・観光情報発信拠点内に埼玉物産ブースを開設する。 イ 来店者数・性別・年齢等を検知し、行動を分析するなどマーケティング調査を実施する。 ウ 埼玉みやげブースに併設されるイベントスペースを活用し、埼玉の魅力を発信するイベントを実施する。 (2) 事業計画 ア 埼玉みやげの展示・販売 31,867千円 駅構内に整備される地域の物産販売・観光情報発信拠点に埼玉みやげをPRする埼玉物産ブースを開設する。 イ マーケティング調査 500千円 来店者の性別・年代を検知し、行動を分析 ウ イベント等PR事業 25,200千円 (ア) 埼玉物産ブースに併設されるイベントスペース活用 ・埼玉の四季折々の魅力を発信するイベント ・市町村の魅力を発信するイベント ・新商品アワード受賞商品販売イベント (イ) 店舗オープンに係る宣伝・広告 (3) 事業効果 県産品のお土産の売上が向上することで、観光客一人当たりの観光消費額が増加している。 【活動指標(アウトプット)】 ・県産品展示販売テナントの設置 ・マーケティングレポート(半期ごと) ・SNS・WEB広告の配信 6回/年 ・イベントスペースの活用 6回/年 【成果指標(アウトカム)】 ・来店者数 1,000人/日(年間約36.4万人) ・埼玉県産品を「知っている」と答える人(令和9年) 37%(現在23%) ・売上額(令和9年) 378千円/日(年間1.4億円) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (一社)埼玉県物産観光協会、民間企業等と連携して事業を展開する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(款)商工行政費 (細目)観光及び物産振興費(細節)観光及び物産観光費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既存分) 9,500千円×1.0人=9,500千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
決定額	57,567							57,567	57,567	
前年額	0							0		

事業内訳書

事業名	来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業		
単位事業名	来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業	予算額	57,567千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	57,567	57,567	
合計	57,567	57,567	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	25,700	25,700	埼玉の魅力を伝えるイベント等実施に係る委託料 オープンに係る広告宣伝委託料
負担金、補助及び交付金	31,867	31,867	埼玉物産ブースの運営等に係るＪＲクロスへの負担金
合計	57,567	57,567	